



**Developing regional energy business based on the collaboration of local municipality, business and citizens**

**行政・地元企業・市民との連携による  
地域エネルギー事業への取り組み**

ほうとくエネルギー株式会社  
湘南電力株式会社

**Masaki Hara**

President, Shonan Electric Power Company

**原 正樹**

**湘南電力 代表取締役社長**



## 地域における取り組み

### 2011.3.11東日本大震災を受けて...

小田原で、官民連携による環境保全 & エネルギー地産地消への取り組みが同時多発的に発生

#### ①小田原市環境部

おだわらスマートシティプロジェクト＝市民への普及啓発  
(広報・セミナー・イベント)

#### ②小田原箱根商工会議所

エネルギー・環境特別委員会＝地元企業による再エネ導入・  
省エネ推進

#### ③民間企業(市との連携)

小田原再生可能エネルギー事業化検討協議会＝ほうとく  
エネルギー(株)へ

# ①おだわらスマートシティプロジェクト

## 小田原市環境部による「行政・企業・市民」が一体となった取組み

・企業会員＝約60社、個人会員＝約30名

おだわらスマートシティフェア(市内ショッピングモールにて毎年開催)



(小中学生絵画・ポスターコンクール)



(会員交流視察会)



(エコ・クッキング@小田原ガスショールーム)





# 湘南電力

## ②エネルギー・環境特別委員会

### 小田原箱根商工会議所内に設置。地元企業による 環境保全(再エネ導入、省エネ推進)への取組み

(省エネ窓口・エネルギーに関するアンケート)

節電対策していますか?  
**無料** 小田原箱根商工会議所  
省エネ窓口相談をご利用下さい

小田原箱根商工会議所では、毎月第3水曜日に中小企業 基金整備機構より省エネ分野専門家が派遣され、無料の窓口相談を行います。  
相談を希望される方は、1週間前までに電話等でご予約頂くことが必要となります。  
相談分野としては、省エネ法、省エネルギー方策に関するアドバイス、国内クレジット制度、地球温暖化対策推進法、新エネルギー法、ESCO事業等となります。  
省エネ対策をお考えの方はぜひご利用下さい。

**【相談日】**  
毎月第3水曜日 10時～11時半、13時半～16時  
7月16日、8月20日、9月24日、10月16日、11月19日  
12月17日、1月21日、2月18日、3月18日

**【予約方法】**  
希望する相談日1週間前までに電話にてご予約下さい。

**【専門家】**  
加治 均氏  
エネルギー環境設計 代表取締役  
独立行政法人中小企業基金整備機構 経営支援専門員

**【相談分野】**  
・省エネ法・省エネルギー方策に関するアドバイス・ESCO事業  
・国内クレジット制度・地球温暖化対策推進法・新エネルギー法

**【問合せ】**  
小田原箱根商工会議所中小企業相談部 担当：飯田、中矢  
電話：0465(23)1811 FAX：0465(22)0877  
E-mail: sodan@odewara-coi.or.jp

小田原箱根商工会議所 エネルギー・環境特別委員会  
エネルギー・環境に関するアンケート

平成27年4月

- 貴社の業種をお答え下さい  
①商業 ②サービス業 ③工業 ④建設業 ⑤交通運輸業 ⑥金融業 ⑦その他( )
- 貴社の従業員数をお答え下さい  
①5人未満 ②5人～20人 ③20人～50人 ④50人～100人 ⑤100人以上
- 夏に取組んでいる省エネ対策がある方は取組の内容をお答え下さい。(複数回答可)  
①LEDランプの導入 ②電灯の取替え ③エアコンの温度設定 ④換気の削減  
⑤太陽光発電の導入 ⑥省エネ対策の社員教育 ⑦その他( )
- 今後取組みたい省エネ対策がある方は取組の内容をお答え下さい。(複数回答可)  
①LEDランプの導入 ②電灯の取替え ③エアコンの温度設定 ④換気の削減  
⑤太陽光発電の導入 ⑥省エネ対策の社員教育 ⑦その他( )
- 取組3、取組4以上に該当しない方のみ、省エネ対策の取組が行えない理由をお答え下さい。(複数回答可)  
①導入資金がない ②導入方法がわからない ③対応できる人材がない ④導入のメリットがない  
⑤その他( )
- 現在実施している自然エネルギーをお答え下さい。(複数回答可)  
①太陽光 ②水力 ③井戸水 ④地熱 ⑤風力 ⑥その他( )
- 太陽光発電による発電や太陽光パネルの屋根設置事業に興味がありますか。  
①興味がある ②興味はない
- 新たな省エネの取組や自然エネルギー導入に際してサポートしてほしい事ほどよろしくお答え下さい。(複数回答可)  
①助成金 ②低利融資 ③導入コストの低減 ④専門家の助言 ⑤エネルギーコストの診断  
⑥環境・エネルギー関係の法整備 ⑦その他( )
- 商工会議所でエネルギー・環境に関する取組について要望があればお答え下さい。(複数回答可)  
①セミナーの開催 ②先進事例の視察会開催 ③専門家の派遣  
④エネルギー・環境に関する助言 ⑤その他( )

アンケートのご回答は大量お手紙ですがFAXにてお願い致します。 ご協力ありがとうございます。  
FAX 0465(22)0877  
〒250-0014 小田原市城内1-21 湘 0465(23)1811

(先進事例視察会)





# 湘南電力

## ③小田原再生可能エネルギー事業化検討協議会

2011年10月、環境省による「地域主導型再生可能エネルギー事業化検討業務」に小田原市が採択されたことにより発足。のちの地域発電会社「ほうとくエネルギー(株)」の母体となる。

- ・鈴廣かまぼこ本店
- ・株式会社小田原衛生工業
- ・さがみ信用金庫
- ・FMおだわら
- ・小田原ガス
- ・小田原市環境部
- ・小田原箱根商工会議所……etc





# 小田原のご当地電気を「つくる」 ほうとくエネルギー株式会社、誕生。

2012年12月誕生。38社の地元企業が出資。  
市民ファンドで再生可能エネルギー発電所をつくる、  
地域密着のエネルギー会社。



## メガソーラー市民発電所

小田原の山林にある  
1.7MWのメガソーラー

## 屋根貸し太陽光発電

小学校などの5つの公共施設の  
屋根を借りて太陽光発電を設備。  
164kWの発電量

## 0円ソーラー

商業施設に初期費用0円で  
太陽光発電を設置。  
30kWの発電量

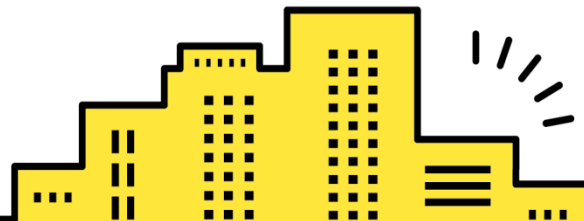
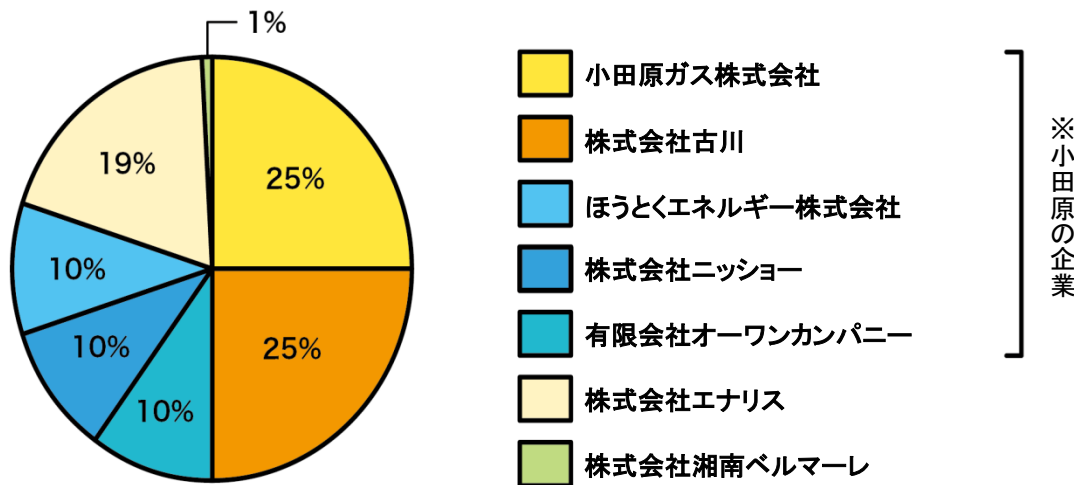
合計で1.9MWを発電中(2017年6月現在)。この発電量は、戸建住宅580軒分に当たる。





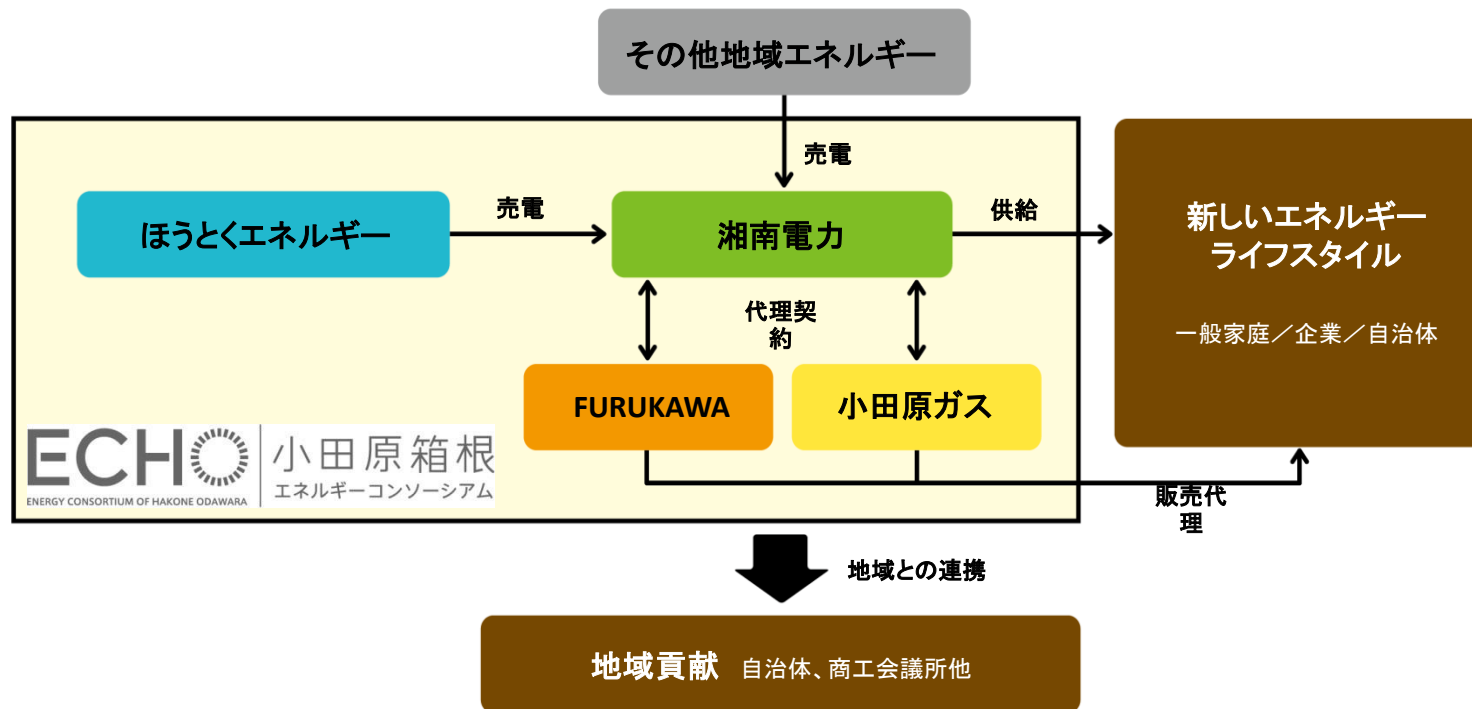
# 小田原のご当地電気を「届ける」 湘南電力が、小田原の企業に。

2017年5月、株式の80%を小田原の企業が取得。  
ますます地域に根ざした経営やサービスへ。





# 小田原市民による、小田原市民のための ご当地電気チームワーク。



# TEAM



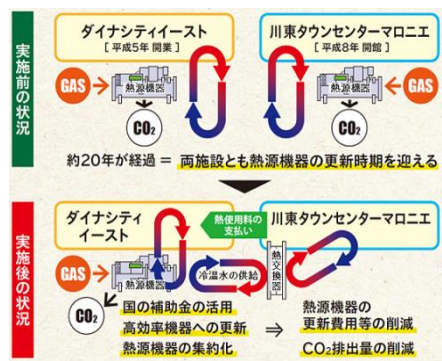
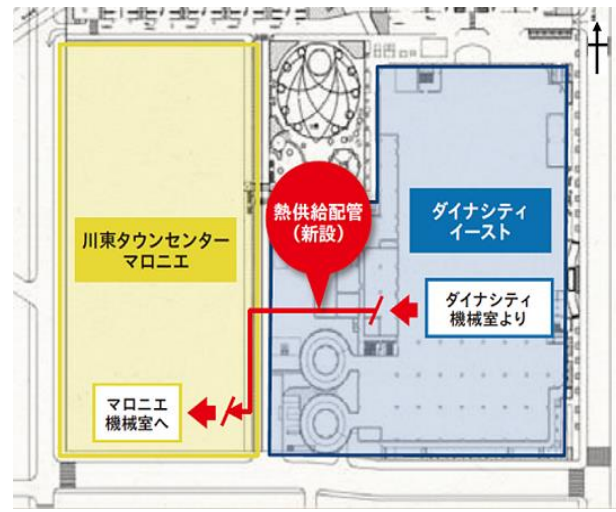


## 小田原市 × ほうとくエネルギー × 小田原ガス

2016年4月、小田原市の大規模商業施設「ダイナシティ」と、隣接する市民向けタウンセンター「マロニエ」の空調熱源設備を連携(熱供給)する官民連携事業。

双方の設備更新に係る初期投資の総和を低減し、併せてCO2排出量を大幅に削減。また、エネルギーの自立を確保し、災害等の非常時におけるBCP確立を可能にする。(環境省「二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金」第1号採択事業)

- ・CO2削減目標値=108トン(対前年比17%削減)
- ・H28実績=137トン(対前年比21.5%削減)





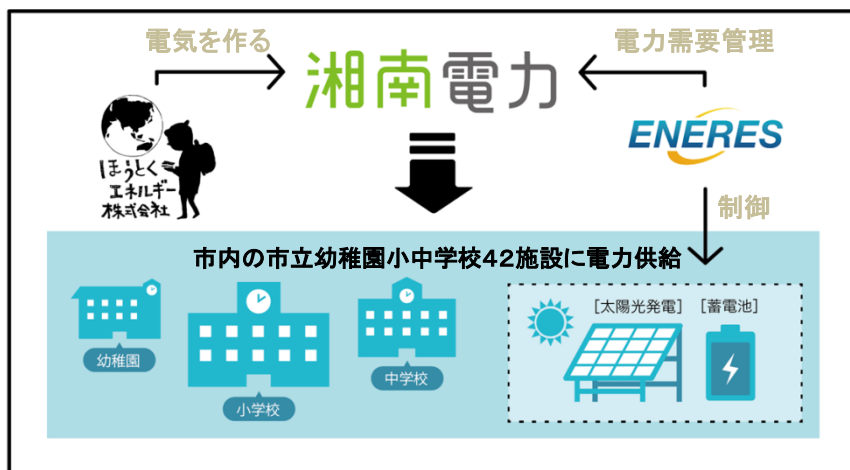
# 湘南電力

## 小田原市 × 湘南電力



### 市内の市立幼稚園、小・中学校 42 施設に採用されました！

「小田原市エネルギーを自給自足の促進に係るモデル事業公募型プロポーザル」にて、  
最優秀提案者として選定されました。2017年12月から、省エネ効果が高いと想定される  
市立幼稚園、小中学校42施設を対象に電力を需給しています。



### 地域のメリット

- ① 電気代が安くなる
- ② 地域にお金がまわる
- ③ 蓄電池や太陽光パネルを無償提供

→ 防災時にも活用できる

7つの小学校に発電施設を無償で設置





# 湘南電力

## 神奈川県 × 湘南電力

神奈川県と湘南電力は、2015年12月に「電力の地産地消推進事業の取組に関する協定書」を締結。

この度、企業庁の所有する発電所(愛川【太陽光】・谷ヶ原【太陽光】・早戸川【小水力】)を使って地産地消に取り組むパートナーとして採択され、電源を調達。また、愛称として「湘南ベルマーレ発電所」と命名。最大出力合計3MW(目標供給電力量340万kwh/年=約1,130世帯分)。

### 黒岩知事を訪問



### 湘南ベルマーレ発電所発表記者会見



### 谷ヶ原太陽光発電所



### 愛川太陽光発電所



# 「小田原の電気が変わります！」宣言

## 小田原で電気をつくり、 小田原の元気につなげていく。

まちの企業が発電、供給すれば、災害時でも、まちで電気が使えます。

さらに、売上の一部を還元し、地域の悩みごとを解決すれば、  
地域にお金がまわり、経済がつながり、人もつながっていきます。

困っていることは何なのか？どう解決したいのか？

それはこれからみなさんに参加していただき、一緒に考えたいと思っています。

新しい小田原の電気、はじめてみませんか？

